

【第5学年及び第6学年 目標】		学習指導要領との関連				東京都小学校音楽教育研究会 多摩南ゾーン大会 公開授業 第6学年「心をこめて表現しよう」 調布市立多摩川小学校 教諭 大賀 見枝子			
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見だしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしよとする態度を養う。		【主な学習内容】		[共通事項]					
学期	◎題材名(時数) 主な教材 ○歌唱 ●器楽 □音楽づくり♪鑑賞 (共) 共通教材	題材の目標		(1) 歌唱	(2) 器楽	(3) 音楽づくり	題材の評価規準		
		(1) 知識及び技能の習得 (2) 思考力・判断力・表現力等の育成 (3) 学びに向かう力、人間性等の涵養	(1) 歌唱	(2) 器楽	(3) 音楽づくり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1 学 期 18	◎歌声をひびかせて 心をつなげよう(7) ○明日という大空 ○おぼろ月夜(共) ○●星空はいつも	(1) 曲想と音色、速度、旋律、強弱などや歌詞の内容との関わりを理解するとともに、それらを生かした歌い方や、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 曲想と音色、速度、旋律などや歌詞の内容との関わりを考え、言葉や旋律のまとまり、発音や声の出し方などを工夫し、曲想にふさわしい歌い方について思いや意図をもつ。 (3) 曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって、歌声に気を付けながら曲想にふさわしい表現を工夫する学習に興味・関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、歌声を響かせる学習に親しむ。	ア イ ウ(ア) (イ) (ウ)			ア★音色、速度、旋律、強弱 音の重なり、フレーズ ☆呼びかけとこたえ イ 速度記号	①曲想と音色、旋律、強弱、フレーズや歌詞の内容との関わりについて理解している。 ②思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	①曲想と音色、旋律、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	①歌声を響かせて歌う活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
	◎いろいろな音色を感じ取ろう(8) ♪木星 ●ラバーズコンチェルト □ボイスアンサンブル	(1) 曲想と音色、リズム、旋律、音の重なりなどとの関わりについて理解するとともに、楽器の音の重なり合う響きを味わいながら音を合わせて演奏する技能や、声の響きが重なる面白さを生かして音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 楽器の音色の特徴を生かした演奏の仕方や声の響きの重ね方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、楽器の多様な組合せから生まれる曲や演奏のよさなどを見だしながら曲全体を味わって聴いたりする。 (3) いろいろな音色が重なって生まれる響きに興味・関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組み、聴いたり、演奏したり、音楽をつくったりする学習に親しむ。	ア イ(ア) (イ) ウ(イ) (ウ)	ア(イ) イ(イ) ウ(イ)	ア イ ウ	ア★音色、リズム、旋律、音の重なり ☆反復、変化、音楽の縦と横との関係	①曲想及びその変化と、楽器の音色と旋律の反復や変化など音楽の構造との関わりについて理解している。 ②曲想と楽器の音色、リズム、旋律の特徴、音の重なりとの関わりについて理解し、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏したり、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて音を合わせて演奏したりする技能を身に付けて演奏している。 ③いろいろな声の響きや組合せ、またリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けて音楽をつくっている。	①楽器の音色、旋律の反復や変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②楽器の音色やリズム、旋律の特徴、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 ③声の音色、リズムの特徴、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	①曲想及びその変化と、オーケストラの楽器の音色や旋律の反復や変化との関わりについて興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ②曲想と楽器の音色、リズム、旋律の特徴、音の重なりとの関わりについて興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 ③声の音色やリズムの特徴、音の重なりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。
	◎旋律の特徴を生かして 表現しよう(3) ○われは海の子(共) ●メヌエット	(1) 曲想と旋律、リズム、フレーズなどや歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて響きのある声で歌う技能や、音色や響きに気を付けて互いの音を聴いて演奏する技能を身に付ける。 (2) 曲想と旋律、リズム、音の重なり、フレーズなどや歌詞の内容との関わりを生かして表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の特徴やフレーズを生かした表現を工夫する学習に興味・関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組み、互いの声や音を聴き合って表現する学習に親しむ。	ア イ ウ(イ)	ア イ(ア) (イ) ウ(ア) (イ) (ウ)		ア★音色、リズム、旋律、強弱、音の重なり、フレーズ	①曲想と旋律の音の動き、リズムの特徴、強弱など音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②曲想と音色、旋律、音の重なり、フレーズとの関わりや、リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解し、イ短調の楽譜を見て演奏する技能や、リコーダーの音色や響きに気を付けて演奏する技能、互いの音を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	①旋律の音の動き、リズムの特徴、強弱を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ②リコーダーの音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	①曲想とリコーダーの音色や響き、旋律、フレーズとの関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。

<p>2 学 期 22</p>	<p>◎いろいろな和音のひびきを感じ取ろう (9)</p> <p>○星の世界 ●雨のうた □和音の音で旋律づくり</p>	<p>(1) 曲想と旋律、音の重なりや和音の響きなどとの関わりについて理解するとともに、互いの声や音を聴き合いながら合わせて表現する技能や、和音に含まれる音を使って旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲想と和音の響きの移り変わり、短調と長調の響きや旋律の重なり方の違いなどとの関わりについて考え、それらにふさわしい表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、つくった旋律を発表し合っただけでなく、気づいたことなどを伝え合ったりする学習に興味・関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きを味わう学習に親しむ。</p>	<p>ア イ ウ (イ) (ウ)</p>	<p>ア イ (ア) ウ (イ) (ウ)</p>	<p>ア (ア) イ (ア) ウ (ア)</p>	<p>ア★リズム、旋律、音の重なり、和音の響き、調 ☆音楽の縦と横との関係</p>	<p>① 曲想と旋律の特徴、音の重なり、和音の響きの移り変わりなど音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や和音の響きやその移り変わり、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 曲想と楽器の音の重なりや和音の響き、調、音楽の縦と横との関係との関わりについて理解し、イ短調の楽譜を見て、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④ 和音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解し、発想を生かした表現をするために必要な、和音に含まれる音や例示されたリズムを基に即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けて音楽をつくっている。</p>	<p>① 旋律、音の重なり、和音の響きやその移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、各声部のバランスなど、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 楽器の音の重なりや和音の響きの移り変わり、調、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、和音の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ リズム、旋律の音の動き、和音の響きの移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの様々な発想を得ている。</p>	<p>① 歌声が重なり合う響きの美しさに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組みしている。</p> <p>② 長調と短調の和音の響きの違いや美しさに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組みしようとしている。</p> <p>③ 和音の響きやその移り変わりへの興味・関心を深め、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組みしようとしている。</p>
	<p>◎曲想の変化を感じ取ろう (8)</p> <p>○あすという日が ♪ハンガリー舞曲 第5番 ●風を切って</p>	<p>(1) 曲想と速度、強弱、音の重なり、変化などや歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、互いの声や音を聴き合いながら表現するなど、曲想にふさわしい表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2) リズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲想の変化を味わいながら思いを込めて歌ったり、曲想にふさわしい表現を工夫して合奏したり、曲想の移り変わりを味わいながら聴いたりする学習に興味・関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組み、曲想の変化を感じ取る学習に親しむ。</p>	<p>ア イ ウ (イ) (ウ)</p>	<p>ア イ (ア) ウ (イ) (ウ)</p>	<p>ア イ</p>	<p>ア★音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、調 ☆反復、変化</p>	<p>① 曲想とリズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりなど音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、思いや意図に合った表現をするために必要な、自然で無理のない歌い方で、歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>② 曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調など音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>③ 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解し、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p>	<p>① リズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 速度、旋律の反復や変化、強弱、調を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>③ 音色、旋律の反復や変化、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 言葉のまとまりや語感と旋律との関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組みしようとしている。</p> <p>② 速度、旋律の反復や変化、強弱、調に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みしようとしている。</p> <p>③ パートの役割や旋律の特徴に合う楽器を選び、豊かな響きで合奏することに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組みしようとしている。</p>
	<p>◎詩と音楽の関わりを味わおう (5)</p> <p>♪花 ♪箱根八里／荒城の月 ○荒城の月</p>	<p>(1) 曲想と旋律、強弱、音の重なりなどとの関わりを理解し、日本語の美しさを生かして歌うために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わって、曲や演奏のよさを見だしながら聴いたり、歌詞や曲の特徴について考えながら歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 詩と音楽の関わりに興味・関心をもち、歌詞と旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどについて話し合ったり、曲想を味わいながらどのように歌うかについて発表し合ったりする学習活動に主体的・協働的に取り組み、詩と音楽の関わりを味わう学習に親しむ。</p>	<p>ア イ ウ (イ)</p>		<p>ア イ</p>	<p>ア★音色、速度、旋律、強弱、音の重なり ☆変化</p>	<p>① 曲想及びその変化と、声の音色や合唱の響きの違い、歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 速度、旋律、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② 旋律、強弱、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 言葉の感じと旋律の関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みしようとしている。</p> <p>② 人々が大切にしてきた歌を味わい、詩と音楽の関わりに興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組みしようとしている。</p>

3 学 期 10	◎日本や世界の音楽に親しもう (4) ♪雅楽「越天楽」 ○越天楽今様 (共) ○国歌 君が代 ♪世界の国々の音楽	(1) 曲想と音色や旋律などとの関わりについて理解するとともに、日本に古くから伝わる歌の特徴に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 曲想と楽器の音色や旋律、音の重なり、拍との関わりについて考え、日本や世界のいろいろな国の音楽のよさなどを見いだしながら聴いたり、日本に古くから伝わる歌の特徴を生かし、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。 (3) 日本や世界のいろいろな国の音楽の特徴を味わって、聴いたり歌ったりする学習に興味・関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や世界の音楽に親しむ。	ア イ ウ (ア) (イ)			ア イ	ア★音色、旋律、 音の重なり、拍	①曲想及びその変化と、音色、旋律の特徴など音楽の構造との関わりについて理解している。 ②曲想と音色、旋律の特徴などとの関わりについて理解し、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いて歌ったり、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③曲想及びその変化と、楽器の音色、旋律の特徴、音の重なり、拍との関わりについて理解している。	①雅楽の楽器の音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ③世界の国々の楽器や声の音色、旋律の特徴、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、世界の国々の音楽を味わって聴いている。	①日本に古くから伝わる音楽や世界の国々の音楽に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌ったり、鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
	◎心をこめて表現しよう (6) ○ふるさと (共) ○いのちの歌	(1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、強弱、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かした表現を工夫する学習活動に主体的・協働的に取り組み、6年間の自分たちの成長を振り返って感動をもって歌うことで、周りの人への感謝の気持ちをもち、心を込めて歌声を調和させて歌う学習に親しむ。	ア イ ウ (イ) (ウ)				ア★旋律、強弱、 音の重なり ☆変化	①『ふるさと』の曲想と旋律、強弱、音の重なり、変化など、音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ②『いのちの歌』の曲想と旋律、強弱、音の重なり、変化など音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ③思いや意図に合った表現にするために必要な、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	①旋律、強弱、音の重なり、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	①曲想を生かした表現を工夫し、思いを込め、歌声を調和させて歌う学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。

※大会授業「心をこめて表現しよう」の題材に関連した前年度の学習

第5学年	2学期	◎詩と音楽の関わりを味わおう	○ぜんぶ	★音色、旋律、強弱 ☆変化
	3学期	◎心をこめて表現しよう	○いのちの歌	★旋律、強弱、音の重なり ☆変化